

役員就任挨拶

「技術士を増やし、 育てよう」

2年に一度の会員選挙による改選～7月の統括本部理事会の承認を経て、この度、能登前本部長の後を継ぎ北海道本部長に就任しました。2期4年の理事経験を活かして北海道本部の発展に貢献したいと思っておりますので宜しくお願いします。就任挨拶としては以上ですが、これで終わるのも申し訳ないので、最近の北海道本部について思っていることを書きます。

若手の技術士の皆さんが元気ハツラツです。今年度から新たに「技術者のミライ研究委員会」(ミライ研)が活動を開始しました。この研究委員会は、もともと青年技術士交流委員会(青技交)が行っていた理科系教育現場における支援事業「技術士を知ろう」(もっと前は「学校へ行こう!!」と言う名称でした)の企画・運営・マネジメント活動をスピンアウトしたものです。大きく分けて以下の2つの柱を活動目的としています。(1)高等教育機関の理工学系教育現場(大学・高専・工業高校等)における支援事業活動を通じて、技術士資格(制度)の説明と理解促進、技術士の知名度向上を図るとともに、技術者・技術士を目指す学生(未来の技術者)等を増やす。(2)活動を通じて技術士自身も未来を見据え、若手技術者が生き生きと働くために必要な環境づくり(意識改革、人材育成等)について研究・実施する。つまり、技術者を目指す学生に技術士を目指してもらう切っ掛け作りと支援活動の一端を担ってもらっています。

一方、青技交の技術士の皆さんには、ミライ研への支援に加え、技術士の合格者祝賀会時に歳の近い先輩技術士として参加して頂き、アドバイスや北海道本部のPRに大いに貢献して頂いております。実

森 隆 広 (もり たかひろ)

技術士(建設/総合技術監理部門)

公益社団法人 日本技術士会
北海道本部 本部長



は、最近の10年間における北海道本部への会員・会友の入会状況を見ると、技術士第二次試験に合格した翌年度に入会する割合が、正会員で49%、会友(技術士)で43%となっています。従って、合格発表時期における新合格者への北海道本部のPRが大変重要な訳であります。

新合格者、学生への関わりについては、青技交、ミライ研の若い技術士の方々が熱心に、かつ、自分自身も楽しみながら活き活きと取り組んでいる状況を見て非常に頼もしく思っております。

学生の更に若年層、児童に対しては、理科の面白さを知ってもらい、将来技術者への道を歩んで欲しいという想いを込めて、エンジョイ・サイエンス研究委員会(ES研)が自作の道具等を用いて理科授業を展開しています。子供にも分かるように説明することは想像以上に難しく、理科授業を通じて技術士の皆さん自身も勉強しているようです。

理科授業を受けた児童が、技術士制度の説明を受けた理工系の学生が、将来技術士となり、かつての教師である技術士と北海道本部で再会する日を思わず想像してしまいます。そういうケースが増えて欲しいものです。

北海道本部には全部で9つの委員会、6つの研究委員会があり、前述のように他の研究委員会等でも会員・会友の皆さんがそれぞれのミッションや目的を持って活動しております。会員・会友の皆さんが、北海道本部の活動を通じて勉強したり、新たな親交を持ったりして自己成長を楽しんでおります。今後も北海道本部の活動は、自己成長を含め、“技術士”を増やし、育てる場でありたいと思っております。